

マレーシア MH17 墜落事件：ロシアがウクライナに回答を 求める 10 の質問

July 18, 2014

RT (Russia Today)



いくつかの西側諸国とキエフは、主張を裏付ける何の証拠もなしに、MH17 墜落事件へロシアの関与を大急ぎで指摘しようとしている、とロシアの国防副長官は RT に語った。彼は、公平な真相究明へのウクライナの協力を証明するために、10 の質問に答えるようウクライナに求めている。

RT に対して、ロシア国防副長官アナトーリ・アントノフは、西側諸国が、まだ証拠もないうちに、「墜落からほんの 24 時間後に」結論に飛びつこうとしたことを非難した。

「彼らは全世界に向かって、墜落は我々ロシアの仕業だと言おうとしています。何の証拠もないのに、西側メディアの私の仲間が、この墜落の責任者が誰かを決めたがっているのは、とても奇妙なことです」と、アントノフは言った。「これはロシア連邦とその軍隊に対して行われている情報戦争の一部だと私は思います。」

これについては、Unverified tape released by Kiev presented as ‘proof’ E. Ukraine militia downed MH17 (東ウクライナの民兵団が MH17 を撃墜した「証拠」としてキエフが暴露し

た証明されていないテープ、リンク) を参照。

この事件を、根拠もなしに一方の仕業として非難する口実に使うのではなく、このウクライナ上空の惨劇は、「未来においてこのような悲劇を防止するための」相互協力を再開させる機会として用いるべきである。

「私に関する限り、誰かを非難するためにこの機会を利用しようとは思いません。私はウクライナの軍部の私の仲間に、いくつかの質問をしてみたいと思います」と、アントノフは言った。「彼らがこれらの質問に答えてくれることを望みます。これは、我々がどういう立場にいるのかを知り、我々が協力を再開し、この悲劇に本当に責任があるのは誰なのか見出す可能性が、あるかないかを理解する絶好の機会になるでしょう。」

「これらの質問に答えることは、このような悲劇を未来において防止する機会を見出すのに、役立つと思います」と、国防副長官は言った。



ウクライナ政府当局に対する 10 の質問

1. この悲劇の直後に、ウクライナ政府は、即刻、自衛軍（東部民兵団）に罪を着せた。これらの告発（リンク）は何に基づいているのか？
2. キエフは、戦闘地帯で Buk ミサイル発射装置（リンク）をどう使うのかを、詳しく説明できるか？ そして、自衛軍が飛行機をもっていないことがわかっていながら、そもそも、なぜ、これらの装置がそこに配備されていた（リンク）のか？
3. ウクライナ政府は、なぜ、国際委員会（リンク）を設けるための努力をしないのか？ そ

のような委員会はいつ仕事を始めるのか？

4. ウクライナ軍は、SAM 発射装置で使われたものも含めて、彼らの空対空、地対空ミサイルの在庫品を、国際調査団に進んで見せることができるか？
5. 国際委員会は、悲劇の起こった日のウクライナ軍用機の動きについて、信頼できる筋からのデータの確認にアクセスさせてもらえるか？
6. なぜ、ウクライナの航空管制官は、この飛行機が北への通常のルートからそれて（リンク）、「反テロ活動地帯」へ向かうように誘導したのか？
7. なぜ、戦闘地帯の上空域が、民間機に閉鎖されていなかったのか（リンク）、特に、この領域はレーダー・ナビゲーション・システムに、全体が覆われていなかったのだから？
8. キエフは、ウクライナ領空を、ボーイング 777 に寄り添って、2機のウクライナ軍用機が飛んでいたという、ウクライナで働くスペイン人航空管制官によるとされる社会メディアの報告に、どのように公式にコメントできるか？
9. なぜ、ウクライナの安全保障局は、ウクライナ航空管制官とボーイングの乗組員の間の変換の記録を細工し、また国際調査団を待つことなしに、ウクライナのレーダーからのデータ蓄積装置を細工し始めたのか？
10. ウクライナは、2001年、ロシアの Tu-154 機が黒海に墜落したときに、ウクライナ軍は何も関与していないとウクライナ政府は主張したが、反論できない証拠がキエフ当局を有罪と証明した、同じような事件（リンク）からどんな教訓を学んだのか？

（上記、国防副長官の談話ビデオ割愛）